



22132037



**JAPANESE A: LANGUAGE AND LITERATURE – HIGHER LEVEL – PAPER 1**  
**JAPONAIS A : LANGUE ET LITTÉRATURE – NIVEAU SUPÉRIEUR – ÉPREUVE 1**  
**JAPONÉS A: LENGUA Y LITERATURA – NIVEL SUPERIOR – PRUEBA 1**

Wednesday 8 May 2013 (morning)  
Mercredi 8 mai 2013 (matin)  
Miércoles 8 de mayo de 2013 (mañana)

2 hours / 2 heures / 2 horas

---

**INSTRUCTIONS TO CANDIDATES**

- Do not open this examination paper until instructed to do so.
- Section A consists of two texts for comparative analysis.
- Section B consists of two texts for comparative analysis.
- Choose either Section A or Section B. Write one comparative textual analysis.
- The maximum mark for this examination paper is *[20 marks]*.

**INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS**

- N'ouvrez pas cette épreuve avant d'y être autorisé(e).
- La section A comporte deux textes pour l'analyse comparative.
- La section B comporte deux textes pour l'analyse comparative.
- Choisissez soit la section A, soit la section B. Rédigez une analyse comparative de textes.
- Le nombre maximum de points pour cette épreuve d'examen est *[20 points]*.

**INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS**

- No abra esta prueba hasta que se lo autoricen.
- En la sección A hay dos textos para el análisis comparativo.
- En la sección B hay dos textos para el análisis comparativo.
- Elija la sección A o la sección B. Escriba un análisis comparativo de los textos.
- La puntuación máxima para esta prueba de examen es *[20 puntos]*.

問題Aか問題Bのどちらかを選び、答えなさい。

### 問題A

1. 次の二つのテキストを分析して、比較対照しなさい。二つのテキストの共通点と相違点、また文脈、読者層、目的、そして形式や文体の特徴の重要性についても言及しなさい。

#### テキスト1

無謀むぼうとか大胆不敵だいたんふてきとか、1950年代の松山で、ぼくらはシェイクスピアの「夏の夜の夢」を上演した。訳と演出は安西敏雄君、ぼくはライサンダーという色男役（エヘン）で出演している。

- 5 安西敏雄君といえば、いまは劇団「円」の顧問こもんかぶ株で、シェイクスピアの訳や演出を次々に手がけている人だが、当時は愛媛大学の学生である。その彼と僕が中心になって作ったアマチュア劇団の、それは天をもおそれぬ公演だった。

- 10 何が天をもおそれぬ公演かと言って、カネがまったくなかったのである。シェイクスピアさん自身は、とてもフトコロの深い人だから、ぼくら素人が取り組んだって、それはそれで許してくれる。が、いざ舞台にかけるとなれば、衣装やらヘヤーやらに、どうしたって、ある程度のカネがかかる。ま、衣装はモモヒキを染めてタイツに見立てることもできるけれど、ヘヤーばかりはどうにもならないわけで、だとい

- 15 かの、案じるより生むはやすし、というのか、父の知り合いだった二番町のリオ美容室（今のリオ・パート2）へ、安西君とぼくがおそろおそろの協力をお願いに行ったら、店主の橋本勝子さんがギロツとぼくらの顔を見るなり、「ハイ、やらせていただきます」と言う。「でも、おカネがあまり・・・」とぼくが言いかけたら、「おカネはいりません。でも時間をください。どうやったら恥ずかしくないものができるか、技術的な問題をしっかり考えてみます」と、勝子さんは言った。あのころの彼女は、ぼくらより二、三歳年上だったから、二十五、六だったろうか。

- 20 で、ぼくらも稽古でがんばったが、勝子さんもがんばった。それだけじゃない、勝子さんの姉さんで、着付けやメイクアップのプロである橋本つた子さんまで、ぼくらの舞台づくりに力を貸してくれた。

- 25 おかげでぼくらの「夏の夜の夢」は、松山の夜空にそれなりの夢を描き上げることに成功した（と思っている）のだが、打ち上げのあとでぼくと安西君が、心ばかりのおカネをつつんで、橋本勝子さんの所へお礼に行くと、彼女は「いただくんなら、その百倍くらいいただきます」と言って、どうしても受けとってくれない。彼女は「自分たちのためにやったんです。面白いからやったんです。商売だったら、はじめからやっていません」

- 30 いま思うと、これがボランティアというものだろう。ボランティアというのは、「世のため、人のため」だけでなく、何よりも「自分のため」のものであって、その動機は「自分がイキイキできるから」「面白いから」ということにつきると思う。つまり、自分自身を「リクリエイト」することだと言っていいだろう。近ごろ話題の「ボランティア」は、いままで日本の風土になじまないとと言われてきたけれど、そんなことはない。なじまなかったのは、言葉だけだ。

天野祐吉「ボランティア事始め」朝日新聞愛媛版、1995年2月17日

## テキスト2

最近ボランティアが注目されています。企業の社会的貢献や社会的責任も強調されるようになってきました。個人も企業も社会の一員、その社会が続いていくためにそれぞれができる範囲でできるだけのことをするのはすばらしいことです。日本の企業もお金をもうけるだけでなく、こうした社会貢献活動が企業イメージを上げ、企業の品格を上げることにやっと気がついてきました。

5 日本では基督教のバックがないからボランティアは根づかないと言われていたのですが、1995年の阪神淡路大震災を機にすっかり定着しました。また各地でNPOが作られさまざまな活動をしています。主婦や学生だけでなく社会人でもボランティアをする人が増えました。近いうちに日本でも本業の世界で成功しているだけでなく、  
10 社会に役立つ活動しているかどうか重視される社会がくるでしょう。同時に多くの人が普通にボランティアを行うようになると、それが特別立派な行いとして尊敬の目で見られることはなくなります。

品格のある人は何気なく当たり前のこととして善行を行い、特に自慢してはいけません。よいことをしていても自分で自慢するととたんに品格が落ちて、自慢したくて  
15 やっているのか、売名だろうと思われてしまいます。目立つように派手に善行をつむのは、一種の広報活動であり企業イメージを上げるため、ビジネスの世界ではやむをえませんが、プライベートな場ではひっそり、しかし息長く行うほうが、みんなに感動を与えます。隠れてということは、こそこそやるということではなく、大げさにせず自慢、宣伝をしないことです。徳という言葉は、もともと報酬を期待しない善行の  
20 ことをいいます。

ボランティアにかぎらず、よいことは隠れて行い、自慢や宣伝をしないほうが奥ゆかしく、その人の品格を高めます。仏教のエッセンスを集めた『修証義』という本の一節に「面むかいて愛語を聞くは面おもてを喜ばしめ、心を楽しくす、面むかわずして愛語を聞くは肝きもに銘じ魂めいに銘ず」とあります。相手に対する愛に満ちた言葉は面と向かって直接聞  
25 くよりは、間接的に人づてに聞くほうが、心を動かし感動を与えるということです。

自分の努力ふいちょうを吹聴する必要はありません。(中略) そうした目に見えない努力を肩肘はらずきちんとできるかどうかで、人間の格が決まります。(中略) 言いふらさないで、何気なく涼しい顔をしながら実は努力を重ねているというのが一番品格があります。

30 湖に浮かぶ白鳥はすいすいと自然に浮かんでいるように見えますが、水面下では必死で水かきをしています。努力を見せびらかさないから美しいのです。

坂東眞理子『女性の品格』PHP新書(2006年)より抜粋

問題B

2. 次の二つのテキストを分析して、比較対照しなさい。二つのテキストの共通点と相違点、また文脈、読者層、目的、そして形式や文体の特徴の重要性についても言及しなさい。

テキスト3

二人の山師 山師の腰に刃物がある

- おれの山の木を盗んだな  
盗まぬ  
それはなんだ  
薪にする木だ  
5 どこで切った  
山でだ  
どこの山でだ  
ずっと奥だ  
誰の山だ  
10 誰のか知らぬ  
立札が立っていたろう  
憶えていない  
空とぼける気か  
白い杭は立っていたが読めなかったのだ  
15 誰の山か知らずに薪の木を切れるのか  
いいあんばいに枯れかかった木があったのだ  
この薪は赤松だろう  
たしかにそうだ  
赤松はおれの山だ  
20 赤松はほかにもある  
この道はおれの山から降りる道だ  
そうかも知れん  
隠れていたらこの奥からおまえは出て来た  
だからおれにどうしろとおまえはいうのだ  
25 薪を返せ  
それだけじゃ証拠にならぬ  
切株を調べにいこう  
おれは嫌だ  
なぜ嫌だ  
30 切った株はもうないからだ  
なぜないのだ  
土をかぶせて隠したのだ

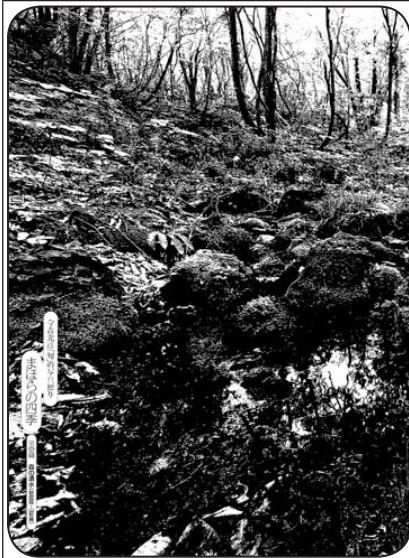
じょうすむ 城 侑 「二人の山師」、詩集『畸型論』 (1957年)

テキスト4

今森光彦『旬』の写真便り

まほらの四季

第44回森の湧水(秋田県・山形県)



15 独立峰。巖かで美しい山塊です。2000mを超える峰は、晩秋から初夏にかけて雪をたたえます。

古くから日本海を行き来する

20 船乗りにとつて、この山は大切な目印になったといわれています。そして遠くから眺めるほど、堂々とした山容に変貌するのです。船乗りには、かけがえない神の山として、心の支えにもしてきたことでしょう。

登山道を進むと、さまざまな

25 樹形のブナが立ちほだかるように林立します。かつてこの森は、薪炭林として管理されており、ブナの木は定期的に伐られていました。

幹が変形しているのは、人と

35 格闘した証。雑木林のように10〜20年周期の伐採ではなく、ブナの場合は生長が遅いので、もつと長いサイクルです。

そんな大きな歯車の中に人の

40 生活が噛みあって、森はゆっくりと回り続けていました。今は、使われなくなった炭焼き

45 小屋が木々の中にぼつりと残っているばかり。しかし破損することなく残っており、入口から山仕事の老人が顔を覗かせそうに気さえします。

木々の下に目をやると、湧水が見られます。そういえば鳥海山は、日本有数の降水量をもつ山。屋久島や大台ヶ原(奈良・三重)と比べても、ひけをとらないほどです。雨水は森の根の中に蓄えられ、山の裾野にじわじわ落とされます。

55 また、豊かな水は数多くの生命を育みます。それは、鳥海山の高山植物が120種を超え、チョウカイフスマ、チョウカイアザミなど名前に「チョウカイ」の付く固有の植物が見られることから分かります。火山活動の歴史をもつこの山は、川の浸食を受けて複雑な山容になり、環境の多様性が形成されています。

湧水の水面に映る森が、おだやかに笑っているようです。

雑誌『サライ』2009年7月2日号、小学館より

まほら 素晴らしい場所、理想郷。  
サライ ペルシア語で「宿」の意味。